

研究課題名	テイコプラニンノモグラムの有用性の検討
研究期間	実施許可日 ~ 2028年3月31日
研究の対象	2019年1月1日から2026年3月31日までに、広島大学病院に入院し、テイコプラニンによる治療を受けられた方を対象とします。
研究の目的・方法	<p>研究目的：重症感染症において、テイコプラニンを目標とする血中濃度に到達させる投与設計は非常に重要となります。そこで、血中濃度に影響を及ぼす因子や初期の投与条件との関連を調べ、より適正な投与設計（ノモグラム）を作成しました。今回の研究ではノモグラムの有用性、安全性を検討します。</p> <p>研究の方法：本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。研究は広島大学病院薬剤部のみで行います。 （個人が特定出来る状態では解析に用いません）</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>カルテから転記する内容は年齢、体重、性別、血液検査（血清クレアチニン、eGFR、ALB等）、治療内容、テイコプラニンの投与量、テイコプラニンの血中濃度、目標濃度域への到達率、副作用の発現率です。</p> <p>試料・情報の管理責任者：広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰</p>
利用または提供を開始する予定日	2020年8月5日（実施許可日以降）
個人情報の保護	<p>得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。</p> <p>個人と連結させるための対応表は、研究責任者監督のもと厳重に管理します。</p>
外部への試料・情報の提供	単独研究で行う研究のため外部への提供は行いません
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰</p>
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p>

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5579

広島大学 薬剤部 教授 松尾 裕彰 (研究責任者)

薬剤主任 片岡 達夫 (研究担当者)